| 学校番号 | 1015 |
|---|---|

令和２年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語科 | コミュニケーション英語Ⅰ | 4 | 第１学年 | All Aboard (東京書籍)・ Follow up 英文法（数研出版）チャンクで英単語（三省堂） |

## 1　担当者からのメッセージ(学習方法など)

・英語Ⅰで使う教科書・副教材は３種類です。All aborad（教科書)、Follow up 英文法（副教材)、チャンクで英単語（単語集）を主に使って学習していきます。授業ではノートやプリントを使って進めていきますので、ノートやプリントを挟むファイルなど授業で必要なものを、英語Ⅰの最初の授業で指示されますのしっかり確認してください。

・評価方法としては年４回の定期テスト、単語テストやノート提出、授業中の取り組みなどを評価の対象とします。

## 2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「英語Ⅰ」（４単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| ・積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 | 英語Ⅰ<br>スピーチ | ・話したり書いたりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 | 英語Ⅰ<br>単語テスト<br>定期考査 | ・聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 | 英語Ⅰ<br>リスニング<br>小テスト<br>定期考査 | 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化をりかいすることができる。 | 英語Ⅰ<br>定期考査 |

## 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | 教室内を巡回してペアワークの取り組み状況を観察する。 | 本文の要約の音読を教員または生徒同士が評価する。 | 本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを、筆記テストする。 | 自己紹介や日本文化についての紹介などのテーマの説明に用いられる語句や文法事項および表現を理解しているか筆記テストする。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | | |

## 4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前期中間まで<br>Warm-up<br>Lesson 1<br>Lesson 2<br>(28 時間) | 身近な日常生活の中にある場所を表す英単語を書き、発音を確認する。<br><br>授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学ぶ。<br><br>辞書の使い方と役に立つ用語について学ぶ。<br><br>世界で活躍するスポーツ選手についてその背景や魅力について学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・be 動詞および、一般動詞の使い方を理解する。 | ・英単語を書く活動に積極的に取り組んでいる。 | ・間違いをおそれず、表現しようとする。 | ・ペアワークなどを通じて教員や生徒が評価する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・アルファベットを使って単語を正確に書くことができる。単語を見て正確に発音できる。 | ・be 動詞、一般動詞などを使って場面や目的に応じて適切に表現することができる。 | ・be 動詞、一般動詞を使った表現を正確に理解できる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・相手の発話を正確に聞き取ることができる。 | ・授業に置ける典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。 | ・ワークシートを活用して本文の内容を理解できる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・過去形について基本的な知識を理解する。 | ・be 動詞、一般動詞の過去形の変化を理解する。 | ・動詞の活用の変化を正確に理解できる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| 前期期末まで<br>Lesson 3<br>Let’s listen1<br>Lesson 4<br>(28 時間) | 日本のマンガについての対話を通じて日本のマンガや文化がどのように世界に広がっているかを学習する。<br><br>道案内の場面においてよく使われる表現を用いて英語で案内する。<br><br>友達をオリンピック観戦に誘う場面における会話を聞き、外洋を理解し、よく使われる表現を学ぶ。<br><br>世界の絶景について書かれたメールを通じてその魅力について学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・日本文化について英語で説明できる表現力を身につける。 | ・例文を参考にして日本文化についてや道案内に使われる表現を理解する。 | ・間違いをおそれず、表現しようとする。 | ・積極的に発話しようと意欲を見せる。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・道案内の場面によく使われる表現を身につけ、実際に使えるようにする。 | ・What や How などの疑問詞を用いて自分が質問したいことを表現する。 | ・例文を参考にして自分が伝えたいことを表現しようとする。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・場所についての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえる。 | ・will や be going to などを用いて未来のことを表現する。 | ・未来ことについて正確に理解し表現する。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・英語で書かれるメールの形式を理解し、実際に英文のメールを書けるようにする。 | ・未来形や過去形を使って時制が異なる表現を学習する。 | ・海外での日本文化のとらえられ方を理解している。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| 後期中間<br>まで<br>Lesson 5<br>Reading 1<br>Lesson 6<br>(28 時間) | 高校生の夢や目標について知り自分の将来について考える。<br><br>ショートストーリーを読み場面や心情を詠み取って英語におけるユーモアを理解する。<br><br>江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通じて浮世絵と現代マンガの関連性を考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・自分の将来の夢について積極的に表現する。 | ・高校生の夢や目標について知り自分の将来について考える。動名詞（動詞の-ing 形）の語法を学ぶ。 | ・話す、書く、聞く、読む、活動について積極的に運用しようとすることができる。 | ・ペアワークでの言語活動を教師と生徒が評価する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・英文メールでよく使われる表現や形式を用いて適切に書ける。 | ・英語で E-Mail を書く。 | ・英語で書くメールに関心を持っている。英語で積極的にメールを書こうとしている。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・高校生が目標のために頑張っている学校生活について情報を理解し、要点をとらえることができる。 | ・対話の流れにおける大切な情報を適切に読み取る。 | ・文章の目的に応じた速さで英文を読むことができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・動名詞についての基本的知識を理解する。将来の夢の説明という場面に適切な表現を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | ・助動詞 / to 不定詞 / 動名詞 / 接続詞について理解できる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| 後期期末<br>まで<br>Lesson7<br>Lesson8<br>Let’s listen 2<br>文の構造を知る<br>文法のまとめ<br>(28 時間) | 絶滅の危機に直面しているコウテイペンギンについての説明文を読み、地球温暖化の影響について考える。<br><br>国際宇宙ステーションの船長となった若田光一さんについての情報を読み、船長の重要な職務に対する若田さんの考えを学ぶ。<br><br>フリーマーケットでの買い物の場面の会話を聞き概要を理解し、よく使う表現を聞き取る。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・地球温暖化防止についてやコミュニケーションに対する考えについて積極的に聞いたり読んだりする。 | ・仮定法の用法を学び、ペアワークで自分の願望を相手に伝える。 | ・聞き取れない箇所や語句があっても、あきらめず、推測するなどして聞き続けている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・適切な速さや声の大きさで話すことができる。 | ・自分の願望に関して仮定法過去を使って正確に表現できる。 | ・仮定法を使って自分の願望を発表する。 | ・ペアワークでの言語活動を教師と生徒が評価する |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・つながりを示す語句に注意しながら読むことができる。 | ・現在完了を使って自分の経験について正確に表現できる。 | ・値段や金額を表す数字を正しく聞き取ることができる。 | ・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・地球温暖化の影響について理解する。<br>・現在完了についての基本的知識を理解する。 | ・受け身／現在完了／it の用法／文構造について理解する。<br>・2 つの目的語をとる動詞と、目的語＋補語をとる動詞を区別して理解する。 | ・学習した英文法に則して自分の意見を述べることができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |